

わんにゃん通信

2018.
6月号

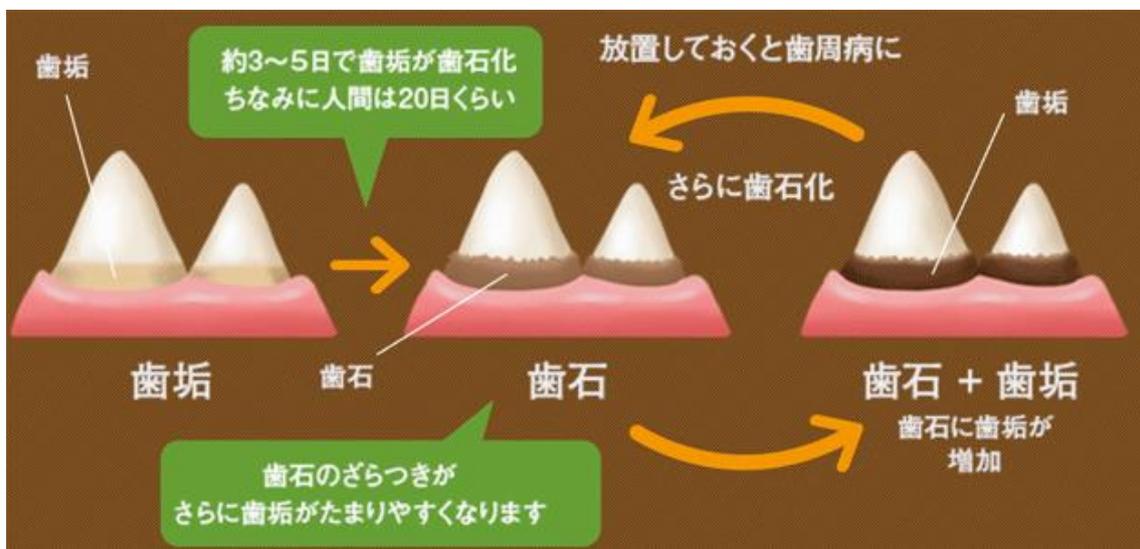
徐々に暑くなってきました…早く梅雨が明けて、カラッとした気持ちのいい夏になってほしいものです。さて、6月4～10日は歯の衛生週間になっています！わんちゃんたちの歯の衛生も気にしていただきたいなと思い、今回は歯周病と歯磨きのお話です。



歯周病とは…

歯周病菌によって引き起こされる歯茎の炎症です。厳密には、歯茎の炎症だけであれば、「歯周炎」、まわりの骨にまで炎症が波及すれば「歯周病」と呼ばれます。また三歳以上の犬の80%以上はかかっているといわれています。

歯垢が歯面に付着すると3～5日で歯石を形成します。歯垢は指や歯ブラシで擦れば落とすことができますが、固くなった歯石は歯ブラシで落とすことはできません。そしてざらついた歯石にさらに歯垢が付きやすくなります。



症状

重症度低〜高

- 歯肉の赤み
- 口臭の悪化
- 歯のぐらつき
- 口の痛み
- 硬いものが噛めないなど
- 目の下や顎の下の腫れ（破裂して穴が開いて膿が出てくることも）
- 膿性鼻汁（口の膿が鼻に回り、鼻から出てくることも）



歯石は麻酔下でのではないと除去できません。子犬のうちからのデンタルケア、そして歯石除去後もデンタルケアが大切です。

歯磨きへのステップ

- ① まず口を触り、次に唇を持ち上げる
- ② マスル部分を撫で、触らせてくれたら褒める。できるだけ毎日行うことが大切です。
- ③ 慣れてきたら唇をめくり、上顎の歯の外側に指を滑り込ませる練習をしましょう。
- ④ 指に湿らせたガーゼを巻き付けやさしく歯の表面をなぞいます。
歯の表面についた唾液を拭うイメージで。
これだけでも歯石形成予防になります。
- ⑤ 歯ブラシに缶詰めの汁や歯磨きジェルを付け、嫌なものではないと覚えさせましょう。
- ⑥ 歯磨きの際に「待て」をさせ、少しだけ歯ブラシで磨いて、すぐにごほうびをあげます。
うまくできるようになったら、間の歯磨きの時間を長くしましょう。



他にも歯磨きガムやデンタルトイなどのオーラルケア用品を活用するもの良いですが、わんちゃんの中にはガムをのどに詰まらせたり、ひづめなど硬いものを噛んで歯が割れる子もいます。
その子に合ったサイズや素材を選び、飼い主さんの目の届く範囲であげてください。

